

平成30年度きぼうの森保育園自己評価表

- A たいへんよい
- B よい
- C 一部検討を要する
- D 改善を要する

平成31年3月公表

項目	内 容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・職員会議・707-会議等で共通認識を図っている。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				・指導計画をもとに保育環境の構成や工夫をすると共に発達や成長に応じて適切な教材教具を思索している。 ・利用者調査を実施し、次年度に反映できるよう配慮している。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助、支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ(ディリープログラム)は現行でよいか。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				・行事終了後に保護者アンケート調査を実施し、評価、改善を行っている。 ・行事ごとの反省を行い次にいかしている。
	(2) 行事のねらいを計画や実態に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動としているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		・職員間で十分に協議を重ね合理的に組織運営がなされるように改善を行っている。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○			
		(4) 係り仕事の分担は適切か。	○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		・委員会の発足により、より細かな周知をおこなっている。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○			・職員間の連携をとりながら日々の保育をおこなっている。 ・朝のミーティングで必要事項を周知し、その日の活動にいかすようにしている。
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。	○			
	保健・安全指導	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は、適切に行われているか。	○			・感染拡大防止の職員に対する予防接種の実施。 ・必要により警察、安全協会、消防署による安全指導を行っている。 ・月一回の身体測定による子どもの状態の把握。
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○			
	情報	(1) 乳幼児や保護者に対する個人情報適正に取り扱っているか。	○			
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		・研修終了義、職員会議で報告し保育にいかすようにしている。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○			
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行なっているか。	○			・施設設備毎月点検の実施。 ・危険箇所等があれば業者に依頼して改善をおこなっている。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・法人間での互見研修を行い保育の改善に努めている。 ・保・幼・小連絡会、交流会に参加し、卒園児の状況を見学する一方、学校との連携を行なっている。
		(2) 他施設の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。	○			
	地域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日時を設定しているか。	○			・地域の祭りに積極的に参加し地域との交流を深めている。 また、地域の老人クラブの方を招いて昔遊びを教えてもらい、園児との交流を持っている。 ・保・幼・小連絡会の積極的 ・園庭開放の実施。 ・保育参観の際に育児講座を併せて開催している。 ・子育て相談については、随時実施。主任・園長が対応。 ・家庭支援事業を行うなかで支援が必要な家庭においては専門機関と連携をとっている。
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		(3) 地域の行事に積極的に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○			
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。		○		
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象にした学習の機会を設定しているか。	○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			・毎月、園だより、フロアだより、保健だより、食育だよりの発行とホームページ等の更新を行っている。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○	・開園4年目を経過、時期を見て評価の実施をする。
(2) 第三者委員制度を活用しているか。			○			